



歯間ブラシの破損・誤飲に注意！

～ 無理に挿入しない！ 曲がったら交換！ ～

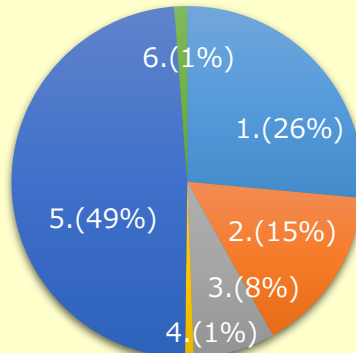


歯間ブラシ使用中に「先端のブラシが取れた」「折れた製品を飲み込んでしまった」などの情報※が寄せられています。そこで東京都は、事故を防止するため、アンケートによる消費者の使用実態調査と、安全性に関する試験を実施しました。

※出典：消費者庁・国民生活センター「事故情報データベース」
2013～2023年 17件

アンケート結果（抜粋）

●都内歯科診療所の受診者等にアンケートを実施したところ、歯間ブラシを使用したことのある253人の約半数が、歯ぐきを傷つけた、ブラシが折れたなど何らかの危険な経験をしており、折れたブラシを飲み込んでしまった人もいました。特にワイヤー型の歯間ブラシ利用者に、このような事故が見られました。



- 1. 歯茎を傷つけて出血した
- 2. 折れて歯の間から抜けなくなった
- 3. 折れてブラシ部分がなくなった
- 4. 折れて飲み込んだ
- 5. そのような経験はない
- 6. その他

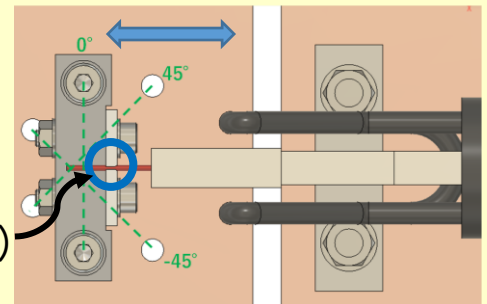
(n=253)

都内歯科診療所の受診者等 380 名にアンケート実施

安全性に関する試験（抜粋）

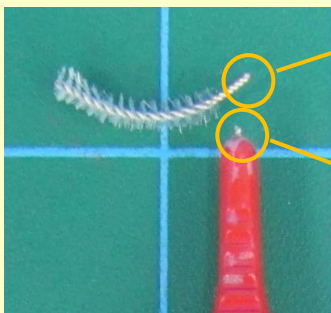
●ワイヤー型の中からドラッグストア等での入手が容易な5商品を選び、使用による破損を想定した試験（歯間を模したすき間(A)に検体を挿入し往復）を実施しました。

- 往復距離 10mm
- 速度 150 往復/分（総往復回数 4500 回）
- 試験時間 1 検体当たり 10 分/方向×3 方向

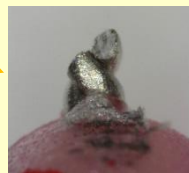


●(A)に垂直に挿入した際は、破損は見られませんでした。その後 45°又は-45°の方向で挿入した際に、一部の検体で破損が見られました。

歯間ブラシ破損部分の拡大画像



・金属ワイヤー部分の表面に劣化が見られる。



・ワイヤー部分が露出しており、歯ぐきを傷つける恐れがある。

詳しくはこちらをご覧ください。



<https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.lg.jp>



【問合せ先】

東京都生活文化スポーツ局
消費生活部生活安全課
電話 03-5388-3082

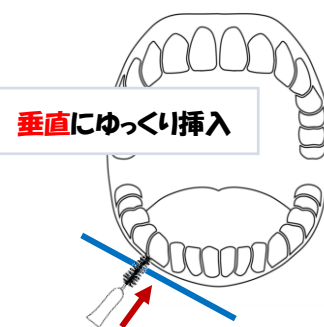
【裏面へ続く】

消費者へのアドバイス

1. 無理に挿入しない！

歯間ブラシは、歯ぐきを傷つけないように歯間部に垂直にゆっくりと挿入し、細かく前後に動かして使用するものです。

歯間のサイズに合わない太いものは入りにくだけでなく、歯ぐきを傷めたり、破損の原因となります。適切なサイズを選択し、入らない場合は無理に挿入せず、デンタルフロス等を利用しましょう。



プラスチック部分から折り曲げ



2. 金属部分が曲がったら交換！

歯間ブラシの金属部分（ワイヤーの根元）を折り曲げて使用すると破損につながります。

奥歯に使用するときには、プラスチックの部分から指で折り曲げて使用しましょう。

また、金属部分が曲がってしまった場合は、速やかに交換し、破損による歯間への詰まりや誤飲を予防しましょう。

金属部分が曲がったら交換



3. 注意書きは必ず読む！

上記の注意点を含め、製品に記載されている注意書きは使用前に必ず読んで、事故が起きないように心がけましょう。

また長期間使用すると、ブラシの毛が摩耗し、洗浄能力の低下が懸念されるので、1週間から10日を目安に歯間ブラシを定期的に交換するとともに、使用上の不安を感じた場合は、歯科医師等に相談しましょう。

事前に注意書きを読む



◆実験動画を確認いただけます。

◆報告書は、ホームページからダウンロードできます。

詳しくはこちらをご覧ください。



東京くらしWEB



https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.lg.jp/anzen/test/2024_06sikanburashi.html

東京都では、安全な製品開発の検討・普及等の取組、消費者に分かりやすい注意表示等の記載及び事故防止に向けた安全対策を推進するため、製造事業者団体、国等に対し、情報提供を行っています。詳しくは、「東京くらしWEB」をご覧ください。